



広報便り

夜間水難事故対応訓練

第 20-011

発行元：金沢消防団広報

発行日：2020年12月15日



訓練に参加した第一分団の団員

署と連携し夜間水難事故対応訓練を実施



震災救助車両の照明の明るさを知る

金沢消防団第一分団（分団長 野本芳明）は、11月8日・29日の両日、並木船だまり（金沢区富岡東）において、署と連携し夜間水難事故対応訓練を実施し、各日も約30名の団員が参加した。水中に要救助者がいる想定では、団員は水上で捜索にあたる隊員や潜水員の視線の先を陸上から照明を操



水上・水中での捜索を見守る

作し照らした。団員は「照明下のこちら側と水上の暗闇の中では、同じ明るさでも、まぶしさが違う。目をくまませないように気を付けなさい」と話していた。また、団員は潜水員の水中からの合図を見極めようと、オレンジ色の浮き球から片ときも目を離せない様子だった。



水上の隊員の合図を確認する



捜索を行う隊員